

# うつわの 大中小展

大ききから、やきものを解剖する

初公開

皇居宮殿所蔵の姉妹作 加藤土師萌《黄地金襴手菊文蓋付大飾壺》

2024 3.16 土 - 5.26 日

岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリーI

【開館時間】 10:00-18:00 (入館は17:30まで)

【休館日】 月曜日(ただし4月29日、5月6日は開館)、4月30日、5月7日

【観覧料】 一般 340円(280円) 大学生 220円(160円) 高校生以下無料

\* ( )内は20名以上の団体料金

\* 以下の手帳をお持ちの方、および付き添いの方1名まで無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証

主催: 岐阜県現代陶芸美術館

Vessels *large medium and small*  
Anatomy of Ceramics based on size

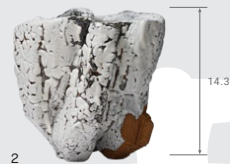


岐阜県現代陶芸美術館  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)  
TEL 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101 <https://www.cpm-gifu.jp/museum>

加藤土師萌《黄地金襴手菊文蓋付大飾壺》1968年 H150.0 岐阜県現代陶芸美術館蔵





Vessels *large, medium and small*  
Anatomy of Ceramics based on size

# うつわの 大中小展

大きさから、やきものを解剖する

一般に、碗や皿、壺などの器物は、それぞれの用途に応じて、おのずとその大きさが決まっています。例えば、抹茶碗なら掌にすっぽりと収まる寸法、洋食器のミート皿は23~25cmの径、そして漬物壺はキッチンに収納でき、女性にも扱いやすいサイズといった具合。いずれも、飲食を中心とした慣習などによって定着し、それが今日にまで伝わってきました。

一方で、これらと同様の形状ながら、異なるスケール感を持ったものも存在します。ドールハウスのミニチュア食器や、見栄えよく大きなものが好まれる飾皿・飾壺などが代表例といえるでしょう。

本展覧会は、こうした「うつわ」たちを、「大きさ」という観点から読み解いていくものです。当館の近現代陶磁器コレクションから、日本で作られた陶磁器による様々な大きさの作品を紹介します。そして令和5年度、新たに収蔵した人間国宝・加藤土師萌による畢生の大作であり、皇居宮殿に納められた《緑地金襴手飾壺（萌葱金襴手菊文蓋付大飾壺）》とほぼ同サイズの姉妹作《黄地金襴手菊文蓋付大飾壺》を最大のうつわとしてお披露目いたします。



## EVENT INFORMATION

### 関連企画

#### MoMCAの小さな図工室 こどもの日スペシャル★

5月4日(土・祝) 13:30-16:00  
切って貼って! みんなで大飾壺を飾りつけよう

#### 土師萌さんに挑戦! 上絵のかざりつぼをつくろう

4月13日(土) 13:00-15:30・5月25日(土) 13:30-15:00(2回連続講座)  
参加費:2000円/定員:12名  
※詳しくはホームページをご覧ください

#### [ギャラリートーク]

3月30日(土)、4月27日(土)、5月19日(日)  
14:00-(約1時間) 当館学芸員による展示解説 \*要観覧券

#### 同時開催 / 次回開催

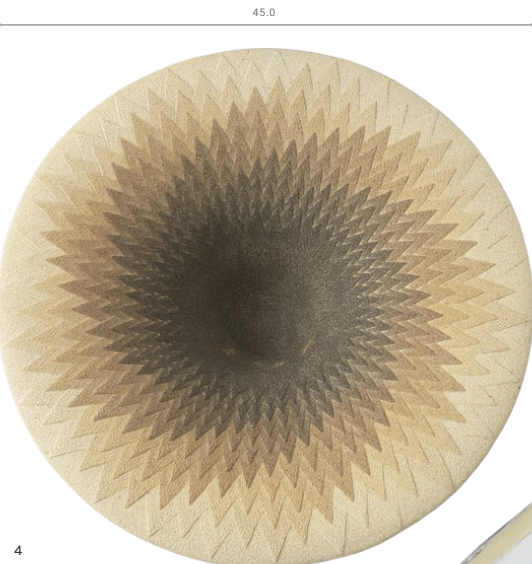
#### ギャラリーⅡ

「やきもの いきもの」  
「令和4(2022)年度新収蔵品」  
4月20日(土) - 6月30日(日)

#### ギャラリーⅠ

特別展  
「リサ・ラーソン展 知られざる創造の世界  
—クラシックな名作とともに—」  
6月8日(土) - 8月25日(日)

1. 八木明《染付小碗》2000年 H7.0
  2. 十三代三輪休雪《エル キャピタン》2022年 H14.3
  3. 伊藤慶二《鏡文字(ひらがな)》不詳 W15.9
  4. 三原研《杉生文鉢》1989年 W45.0
  5. 富本憲吉《色絵金銀彩四弁花模様飾壺》1960年 H23.0
  6. 五代西浦圓治《上絵金彩染付四季園大長頸壺》19世紀後期 H85.8
- すべて岐阜県現代陶芸美術館蔵 / 単位はcm



**岐阜県現代陶芸美術館**  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801  
岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)  
TEL 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101

URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum>  
X([@twitter]) [@gpmomca](https://twitter.com/gpmomca)  
Facebook <https://www.facebook.com/cpm.gifu.museum>

\*催しの最新情報は、ホームページをご覧ください。



#### [電車でのアクセス]

- 東京・大阪方面→名古屋駅でJR中央本線に乗り換え/多治見駅から  
● タクシー 約10分
- 多治見市コミュニティバス「オリベ観光ルート」約20分  
→「セラミックパークMINO」下車 \*土・日・祝日のみ運行
- 東鉄バス「瑞浪駅前」、「妻木上郷」、「駄知」行き 約15分  
→「セラパーク・現代陶芸美術館口」下車→徒歩 約10分

#### [お車でのアクセス]

- 東京方面・東名高速→豊田JCT経由、新東名高速→名神高速→豊田東JCT経由
- 富山方面・東海北陸自動車道→美濃関JCT経由
- 長野方面・中央自動車道→土岐JCT経由
- 東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分
- 大阪方面・名神高速→小牧JCT経由
- 中央自動車道 多治見ICから国道19号を土岐・中津川方面に約10分→「東町1」の交差点を右折

